

平成 27 年度 公益財団法人 地域開発研究所 事業計画

(1) 奨学金給付事業

新たに支給者を3月中に決定し、平成27年度より4年間の支給を始める。また、前年度に引き続き、現役学生のみではなく社会人や一定の目的をもった活動を目指す者を対象とした奨学金の給付も検討していく。

(2) 調査研究事業

- 明治時代の大湊開港についての研究に対する助成
前年度に引き続き、大湊開港についての研究（明治から戦後まで）に対し、支援をしていく。
- 不動産登記に係わる諸問題の調査・研究に対する助成
前年度の事業計画でも挙げていたが、具体的に調査するまでには至らなかった。しかし、今年度においても事業計画として挙げ、助成対象事業となった場合には、若干の助成を行っていくことにしたい。
- 地場産業品（サフラン）商品化に対する助成
地場産業品としてサフランを商品化する事業に対し、助成を行っていく予定である。現在最大の生産地である竹田市とタイアップしていくことを検討しており、今年度は球根を3,000個用意し、ビニール栽培で植えてみるか依頼してみたいと考えている。
- 鉄道用地活用コンペに対する助成
資産である鉄道用地を今後どのように活用するかをテーマに、全国の学生を対象にした鉄道用地活用コンペを開催し、その助成を行う活動を検討していきたい。
- テーマに沿って応募されてきた研究に対する助成
前年度に引き続き、青森県に関係する公益目的に沿ったテーマを当法人で挙げ、その研究に対して応募申請をしてもらい、支援していくということを実施していきたい。

(3) 自然保護事業

- 植樹事業に対する支援
NPO法人GEMBUの宮脇先生の指導による植樹事業に、継続して支援してきており、学校や公共施設への植樹祭を中心とした活動の支援をする。

- ・むつ湾海岸のごみの収拾、美化事業への支援

毎年 2 度行われているごみの除去、海岸線の美化に対して、トラック十数台分の不法投棄ごみが毎年取り除かれている。この継続して行われている活動に対して、付近の町内会のみならず学校関係者（児童やPTA）に広がりを見せている。この活動の費用の負担を負うことによって支援と同事業の継続性を引き続き目指す。

- ・県内に於ける主たる花の一つであるハマナスの集団育成と観光開発に対する支援

ハマナスの集団育成については目標として掲げている 10 万本の半分ほどの植栽を終えている。植樹用のハマナスの苗の育苗作業も順調に軌道に乗り始めている。また、ハマナスの商品化については、よりよい商品の開発に向けて更なる調査、研究を開始したところである。ハマナスの集団育成、商品化についての援助、助成は、申請があれば今年度も引き続き行っていく計画である。

以上